

AGST/J 2026 年



公開講座 (オンライン)

宗教多元的社会における福音宣教

—対話と伝道の狭間から問う新たな道—

Asia Graduate School of Theology / Japan

- 内容: 唯一絶対の神への信仰が平和を脅かすという言説に、私たちは戸惑います。様々な宗教(無宗教)の価値を尊重しつつ、「この方を他にして救いはなし」とする絶対的主張は可能なのでしょうか。多宗教が共存する日本で福音を宣言する際、避けて通れないこの問題に、排他主義、包括主義、多元主義の類型論を批判的に用いつつ取り組んでまいります。

- 講師: 西岡 義行 (Yoshiyuki Nishioka)

東京聖書学院、アズサ大学、同大学院、フラー神学大学院(Ph.D. 比較文化論)で学ぶ。現在、東京聖書学院教頭、東京ミッション研究所総主事、JHC 川越のぞみ教会牧師、ATA/J 総主事、日本宣教学会理事。著作:“Worldview Methodology in Mission Theology”(Missiology, vol. 26)、D.ボッシュ著『宣教のパラダイム転換』(編集共訳/新教出版社)、『社会に開かれた教会』(共編著/いのちのことば社)、*Footprints of God: A Narrative Theology of Mission.* (共著 Wipf and Stock Publishers)、“A Creative Death Ritual: Receptor-Oriented Sense-Making in Japan.” In *Traditional Ritual as Christian Worship.* (Orbis Books)、“Penetrating Asia’s cultural heartlands with the Gospel.” (*Journal of Asian Mission*, vol.25)他。



- 授業スケジュール (6回の月曜 10:00~15:00) ※各回の内容は変更になることがあります

- 第1回 2/16 日本の宗教多元的現実と福音宣教の課題—問題提起と方法論的考察
- 第2回 3/9 排他主義とその課題—保守的キリスト教とK.バルトの立場を考える
- 第3回 3/23 包括主義と多元主義—プロテスタントとカトリックの包括主義からヒックの多元主義へ
- 第4回 4/13 非通約的多元主義—ヒック批判からJ.カブおよびP.ニッターの主張へ
- 第5回 4/27 ポスト多元主義からの展開—デコスタ、シュベールから最近の議論へ
- 第6回 5/11 排他主義から特殊主義へ—対話と伝道の狭間 (K.ヘンリー、ニュービギン他)

- 開催方法 ズーム (申込者に URL をメールでお知らせいたします。)

- ◇ 授業時間: 午前 10:00~12:00 午後13:00~15:00 (途中休憩あり)
- ◇ 申し込み: 下記の URL から申込フォームに入って、必要箇所にご記入ください。初めて受講される方は、所属する教会の主任牧師、または卒業した神学校の教授による推薦を必要(AGSTの学生は不要)とします。

URL <https://forms.gle/jrbVe56nxpZpqh6m8>

- ◇ 聴講料: 2万円 (AGST学生は別納)



Asia Graduate School of Theology/Japan

関東研修センター 〒189-8512 東村山市廻田町 1-30-1 東京聖書学院内
TEL042-391-3076 FAX 042-397-7558 Eメール tbs@jhc.or.jp